

ヒューストンは、テキサス州南東部に位置する全米第4の大都市です。大手石油会社、石油ガス探査会社、MLP※1などエネルギー関連企業が数多く本社を構え「世界のエナジー・キャピタル」と呼ばれています。

《ヒューストンに本社機能がある代表的な会社》
 石油会社：コノコフィリップス、アナダルコ・ペトロリアム
 石油ガス探査会社：シュルンベルジェ、ハリバートン
 MLP：エンタープライズ・プロダクト・パートナーズ
 キンダー・モルガン

テキサス州はもともと、メキシコ湾海底油田を含め、米国を代表する在来型油田・ガス田の地帯です。加えて近年ではシェール開発で先行した「バーネット」をはじめ「イーグルフォード」、「パーミアン」などでも開発が進み、エネルギー関連産業を中心に雇用が著しく増えるなど、米国経済の牽引役となっています。

今回の訪問ではヒューストン東のベイタウン周辺にある石油化学プラントを見学しました。ヒューストンの石油化学工業は、全米の基礎化学物資生産高の約6割を占めるといわれ、世界の石油化学産業の中心的な存在です。ここではエクソンモービル、シェブロン・フィリップスといった大手石油会社が安価なシェールガスを活用したエチレンプラント※2を増設・新設をするなど大規模な計画が目白押しのようです。

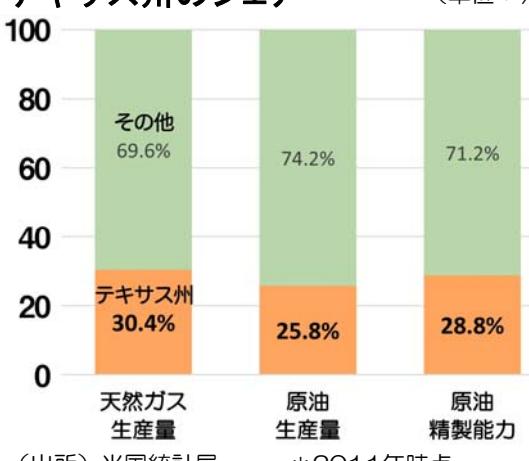
※1 マスター・リミテッド・パートナーシップの略称。エネルギー関連事業に対する共同投資事業で、持ち分が取引所に上場されている。

※2 一般的な石油化学工場においてはエチレンプラントが他の設備への原料供給元となるため、エチレン生産能力が工場全体あるいはコンビナートの規模の尺度として用いられます。

広がる北米の油田地帯

米国エネルギー産業における
テキサス州のシェア

(単位：%)



ヒューストン近郊の石油化学工場

本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「弊社」といいます。)が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨(有価証券の取得の勧誘)を目的とするものではありません。本資料に記載された過去のデータは将来の結果を保証するものではありません。本資料は、弊社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された市場の見通し等は、本資料作成時点での弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合もあります。個別企業あるいは個別銘柄についての言及は、あくまで例示をもって理解を深めていただくためのものであり、当該個別銘柄の売買、ポートフォリオの構築、投資戦略の採用等を推奨あるいは勧説するものではありません。本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(I)複写、写真複写、あるいはその他のいかなる手段において複製すること、あるいは(II)再配布することを禁じます。

<審査番号: 121432.OTHER.MED.OTU> © 2014 Goldman Sachs. All rights reserved.



2/2~

【エクソンモービル】

全米最大とされる規模を誇るエチレンプラントを更に増設 (+150万トン) し世界最大級の規模に。

【シェブロン・フィリップス】

エチレンプラントを新設（生産能力150万トン/年）。日本の日揮が2,000億円強で設備を受注。

米国で新設されるエチレンプラントの生産能力は約1,000万トンに及び、日本全体の生産能力（721万トン）を大きく上回るといわれています。（石油化学工業協会2012年末）

世界の主なエチレンプラント

(単位：万トン)

国名	企業名	能力
米国	エクソンモービル	532
米国	エクイスター LBI	435
米国	シェブロン・フィリップス	353
米国	ダウ・ケミカル	339
カナダ	ノヴァ・ケミカルズ	295
米国	シェル	227
中国	中国石化上海石化股份公司	220
韓国	麗川NCC	191
シンガポール	エクソンモービル・ケミカル	190
米国	ダウ・ケミカル・LA	189

プラント新設が相次ぐ米国が上位を独占！

(出所) 経済産業省

*2017年までの新設工場（予定）を含む。

米国では天然ガスを利用した新工場建設計画が約10兆円あり、雇用拡大につながる工場建設をオバマ政権も支援しています。

エチレン生産以外にも電力燃料の石炭から天然ガスへのシフト、また将来的にはLNG（液化天然ガス）の海外輸出などがけん引する形で、天然ガスの需要は今後も増大する見込みです。シェール開発による天然ガスの供給とその需要が拡大すれば、MLPが保有するパイプラインを使って運搬する量も今後ますます増えるでしょう。

今回、広大なプラントがぞくぞくと拡大している様子からは、シェール革命の恩恵を受ける米国経済のダイナミズムを感じることができました。

次回はヒューストン周辺にあるMLP関連施設を紹介したいと思います。



ヒューストン近郊の石油化学工場



ヒューストンを見学した弊社社員

本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「弊社」といいます。)が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨(有価証券の取得の勧誘)を目的とするものではありません。本資料に記載された過去のデータは将来の結果を保証するものではありません。本資料は、弊社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された市場の見通し等は、本資料作成時点での弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合もあります。個別企業あるいは個別銘柄についての言及は、あくまで例示をもって理解を深めていただくためのものであり、当該個別銘柄の売買、ポートフォリオの構築、投資戦略の採用等を推奨あるいは勧誘するものではありません。本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(i)複写、写真複写、あるいはその他のいかなる手段において複製すること、あるいは(ii)再配布することを禁じます。

<審査番号: 121432. OTHER.MED.OTU> © 2014 Goldman Sachs. All rights reserved.